

鬼 だ	北上市立	館 より
	の	
第16号		



「福は〜うち！ 鬼も〜うち！」



なまはげがやってきた！

2月3日、鬼の館の福豆節分会に秋田県若美町のなまはげが登場しました。会場から小さなお子様のいる親子に参加していただき正月の様子が再現されました。

「泣ぐ子はいねがー」の声と面の形相に泣きだす子供、ほほえみ見守る大人達、そして、あるじ主はなまはげと問答し酒をもてなします。

こうして「なまはげ」は皆のなまけ心を戒め帰って行くのです。

(間近で見る「なまはげ」の迫力に思わず声を発していました。「大人でよかった…」)

平成14年度の催し＝事業計画＝

企画展 16

田澤 茂 絵画展「魍魎魍魎展」
ちみもうりょう

平成14年10月7日(月)～11月24日(日)

伝説の中に登場する鬼には、恐ろしいものから愛すべきものまで様々です。そんな鬼たちの世界を描き続けている、神奈川県在住 田澤茂画伯の絵画を展示します。キャンバスいっぱいに描かれた鬼たちの姿は観る人の心を惹きつけます。



特別展

平成13年度 収蔵資料展

平成14年3月10日(日)～5月6日(月)

平成13年度に収集した寄贈資料・寄託資料・購入資料を展示公開するものです。今回は未公開資料を含み61点あまりの資料を紹介しています。



墨彩画「鬼剣舞雄姿」の前で。
作者フーイ・ヤオ氏(左)と北上市長

特別展

～日本のこけし展～

平成14年5月14日(火)～9月29日(日)

地域にねざし市民から活用される博物館づくり事業の一端として、市民が自由に展示を楽しむ活用できる機会を提供するものです。期間中、“岩手こけし愛好会”による「こけし制作の実演」もおこなう予定です。

特別展

～市民の心のたからもの展～

平成14年12月8日(日)～平成15年2月23日(日)

北上市民が大切にしている思い出の品「心のたからもの」を借用し展示公開するものです。ふるってご出品ください。

詳しい応募規定等は広報北上紙上でお知らせします。

特別展

平成14年度 ～収蔵資料展～

平成15年3月6日(木)～5月5日(月)

1年かけて収集した資料を公開します。様々なものにあらわされる“鬼”の数々をご覧ください。

◆鬼の館の芸能公演◆

～鬼剣舞中心の民俗芸能公演～

4月～11月・3月の第4日曜日と5月4日の連休公演、8月11日のお盆公演の11回公演です。

午後1時30分～2時30分 野外ステージにて
(7月は午後3時～4時)

◆第9回大乘神楽大会◆

平成14年6月9日(日) 午前10時～午後4時30分

鬼の館 特設ステージにて

市内10団体、市外1団体が出演予定です。

◆鬼学講座◆ ～鬼の姿を探るパート6～

全6回講座 移動研修あり

毎年開講している成人向けの講座です。地域を問わず広域的範囲で募集します。

・定員40人 申し込み制です。



昨年の移動研修「鬼首の鬼太鼓保存会」

◆鬼っこわんぱく講座◆ ～たたら製鉄～

全10回講座 鬼っこ合宿あり

市内の小学4～6年生対象の講座です。

・定員15人 申し込み制です。

5月5日は「こどもの日わくわくイベント」として参加自由です。



昨年の鬼っこ合宿

◆鬼ッズ・プレイミュージアム◆ 随時

～世界の鬼に変身できるよ～



- ・鬼剣舞 (岩手県北上)
 - ・なまはげ (秋田県)
 - ・トシドン (鹿児島県)
 - ・クランプス (オーストリア)
 - ・ランダ (インドネシア・バリ島)
- 変身したならハイポーズ！
で記念撮影。

そのまま館内見学もOKです。

「なまはげだぞ～」

平成14年度 催しものカレンダー

展示	講座 ☆鬼っこわんぱく講座 ★鬼学講座	芸能公演 ◇鬼剣舞公演
4 〈特別展〉 平成13年度 収蔵資料展		◇28 鬼柳 鬼 剣舞
5 ○6 ○14	☆5 子どもの日 わくわくイベン ト	◇4 二子鬼 剣舞 ◇26 飯豊鬼 剣舞
6	☆2 タタラ製鉄① ★16 民間信仰と民俗信 仰の鬼	◆9 大乗神楽大会 ◇23 相去鬼 剣舞
7 〈特別展〉 ～日本のこけし～	☆7 タタラ製鉄② ☆20 タタラ製鉄③ ★21 道祖信仰への 鬼の派生	◇28 二子鬼 剣舞
8	★24 各家族に祀ら れる鬼たち	◇11 岩崎鬼 剣舞 ◇25 口内鬼 剣舞
9 ○29	☆15～16 タタラ製 鉄④合宿 ★28 個々に宿る鬼 たち	◇22 御免町 鬼剣舞
10 ○7 〈企画展16〉	★18～19 移動研修 青森県南 岩手県北	◇27 谷地鬼 剣舞
11 ○24 「魍魎魍魎展」	★10 鬼シンポジウム	◇24 飯豊鬼 剣舞
12 ○8		
1 〈特別展〉 市民の心の たからもの展	☆11 鬼剣舞体験① ☆12 鬼剣舞体験② ☆19 鬼剣舞体験③ ☆26 鬼剣舞体験④	
2 ○23	☆2 鬼剣舞発表会 (福豆節分会)	
3 ○6 〈特別展〉 平成14年度 収蔵資料展 平成15年5月5日 まで		◇23 御免町 鬼剣舞

※日程は変更することがありますので、お出かけ前に確認されることをおすすめいたします。

新資料から

スネカ

寄贈者 大船渡市三陸町吉浜
スネカ保存会

スネカ習俗は、大船渡市三陸町吉浜地区に伝承される民俗行事のひとつです。

このスネカは、秋田県男鹿地方に伝わるナマハゲと同様の習俗ですが、来訪する時期と装束に大きな違いが見られます。

スネカは、小正月の1月15日の晩に各家々を巡り、“なまけ者”を戒めるというもので、昨今では各家々の子どもたちが対象とされています。

本来この習俗は、通念を通しての農耕儀礼に起因するもので、冬と春の節目に訪れて、その年の豊作や豊漁を予祝する儀礼であると考えられます。

民俗学者折口信夫は、この習俗を「春来る鬼」と呼び「まれびと(客神)」としています。まれびとは、海を渡ってくる神とされ、山に入り、在地

の「山の神」と共に里に降りて来るとされます。

スネカ習俗もこれと同様であり、二人一組となって各家々を訪れます。一人は、山の神(農耕神)であり、もう一人は春の神様です。いずれも得体の知れない力強いものとして、動物や鬼の仮面を被り、稲ワラで編んだミノやケラを着て、さらにアワビの貝殻を腰につけます。

ワラや貝殻は、農耕や漁労に関係する産物であることから、豊作や豊漁を予祝するひとつの表現方法として装束に取り入れられたものと思われます。

この習俗は、海岸地域に分布し、地域によって名称が異なり沖縄県宮古島ではパーントウと呼ばれています。



平成13年度

〔寄贈資料〕

世界遺産切手「風神雷神」「舞楽面」各1シート 2点
胆沢郡胆沢町 鈴木明美様
写真「長谷寺だだおし法要」「秋田男鹿のなまはげ」 2点
川越市 宗形 慧様
第25回国民体育大会参加賞 3点
二戸郡浄法寺町 山部俊夫様
豊橋伝統玩具 ケロリ凧 1点 豊橋市 栃久保操様
Tシャツ(猿鬼) 1点 福カッパ 1点 張り子面 3点
北上市滑田 佐藤雅紀様
齋藤博之画集 河童晩年 1点 盛岡市 遠山美知様
玩具 紙メンコ(鬼絵) 10点 北上市村崎野 針生泰彦様
伝統民芸玩具 川越扇凧 2点
川越市 有) つちがね 土金洋子様
民俗 スネカ装束一式 大船渡市三陸町 柏崎倫也様
鬼剣舞面(青) 1点 北上市大堤西 照井光喜様
般若面 1点 一関市 佐藤 孝様
絵皿 9点 鎌倉市 斎藤百合子様
〔寄託資料〕
鬼剣舞面(白・赤・黒) 3点 北上市大堤西 照井光喜様

新収集資料

〔購入資料〕

錦絵 歌川国芳画 木曾街道六十次之内 1枚 1点
大久手一ツ家老婆
錦絵 歌川国久画 那須之原 九尾老狐討取 3枚組 1式
錦絵 豊原国周画 文治4年摂州大物浦 難風の図 3枚組 1式
錦絵(雷) 国貞画 鳥羽絵 九変化ノ内尾上多見蔵・むすめ 1点
錦絵 国貞画 中村歌右エ門の青鬼 1点
錦絵 歌川芳虎画 義経蝦夷地渡海の図 3枚組 1式
錦絵 芳艶画 破奇術頼光袴垂為搦 1点
錦絵 歌川豊国画 夕立雨やどりの図 3枚組 1式
錦絵 歌川豊国画 奥州安達ヶ原 八幡太郎義家・安部宗任・安部貞任 肖像画 3枚組 1式
鬼絵記念切手 「風神雷神」 1シート
伝統民芸玩具 鬼首鬼こけし 2点
絵画(傳益瑤画) 墨彩画 鬼剣舞雄姿 1点
伝統民芸玩具 川越扇凧 1点

【ありがとうございました】

=NEWS=

「ふるさと創作民話鬼絵本化発掘事業」として創作地名である「鬼翔平」^{おにがけだいら}から連想される民話を平成13年7月10日より募集し、9月11日までに海外を含む各地から、119点の作品が寄せられました。

11月14日、児童文学者、民俗学者、小・高等学校教諭、絵本研究家、創作地名発案者の方々からなる運営委員7名の審査により、最優秀賞1点（P6～7に原文掲載）優秀賞4点。また、「子供達の創造力を大切にしたい」と児童生徒の部努力賞4点が選ばれました。

受賞作品は次のとおりです。

	賞	作品名	受賞者名		
一般の部	最優秀賞	鬼翔平物語	竹林 征三(57) 田村 喜子(68)	埼玉県志木市 東京都港区	大学教授 作家
	優秀賞	鬼翔平の虹 鬼翔平 おにがけだいらのおに 泣き虫シクシク	池田まき子(43) 溝口なつみ 和田 明(53)	Australia 岩手県遠野市 群馬県前橋市	翻訳業 小学校教諭 小学校教諭
児童生徒の部	努力賞	鬼がけだいらの子供ずき の鬼 おににへーんしん 鬼の影 題名なし	佐々木まどか(9)	北上市和賀町 岩崎	岩崎小学校3年生
		川村 祐希(8)	北上市和賀町 岩崎	岩崎小学校2年生	
		橋元 聖子(17) 江野沢雄一(14)	仙台市若林区 東京都目黒区	向山高校3年生 目黒区立第4中学校2年生	

最優秀賞作品は 絵本作家野村たかあき氏(群馬県前橋市)の絵により絵本化し1000部発刊されます。優秀賞・努力賞についても鬼の民話作品集として300部発刊することとなりました。これらは市内関係施設(保育園・幼稚園・小学校・図書館等)に無償配布されます。

「鬼剣舞の鬼」「北上市民憲章の鬼」そして「鬼の館」のように、北上の鬼の一つとして、親しみを持って語られていくことを願っています。

平成14年4月1日から11月25日まで
鬼の館は 毎日開館 いたします。

これによりご利用が更に便利になります。

◎臨時休館日◎

- ・ 5月28日(火)
- ・ 7月23日(火)
- ・ 9月24日(火)
- ・ 11月26日(火)

ワックス清掃日の為、お休みさせていただきます。

できごと Oni Museum

～新聞の見出しより～
H13. 下半期

- 東北の歴史見詰め直す**
きょうから「エミシ展」 (岩手日日 10/7)
- 色麻の12神持像を展示** 船形神社に奉納
北上市(岩手県)のエミシ展に「大崎タイムス10/17」
- 坂上田村麻呂を「人間」 東北人を「鬼」は差別!?**
絵馬「蝦夷退治」で描く
「鬼の館」で「エミシ展」来月25日まで
(毎日新聞 10/18)
- 蝦夷の英雄アテルイ没後1200年に向け東北復権へ「エミシ展」**
「豊かな文化伝えたい」 (朝日新聞 10/24)
- 鬼剣舞の句碑建立**
北上 鬼の館
小原さん(県俳句連盟理事)が詠む
(岩手日報 11/1)
- 多種多様の鬼を紹介**
高齢者大学で講座 (岩手日日 11/9)
- エミシ復権への道のり学ぶ**
鬼の館で特別展 (岩手日報 11/11)
- 「鬼の館」公募の創作民話 最優秀賞に「鬼翔平物語」**
応募119点から選出 入選作品8点も決まる
絵本化し来春発刊へ (岩手日日 11/16)
- 市民の心のたからもの展**
来月11日から鬼の館で開催 (岩手日日 11/23)
- 新たな北上の民話誕生**
「鬼翔平物語」来春絵本に
公募最優秀賞決まる 首都圏の2人合作、丹念な調査が実る (岩手日報 12/4)
- 公募の創作民話絵本化進む**
全国から応募119点
最優秀は首都圏の2人 (朝日新聞 12/6)
- 新たな鬼面加わる**
照井さん(北上)が寄贈 (岩手日日 12/28)
- 思い出の品々一堂に**
市民の心のたからもの展
絵馬など貴重な資料も公開 (岩手日日 12/31)
- 鬼の創作民話を絵本に**
原作は、全国公募作品 3月末までに発刊
無料で配布へ (岩手日日 14. 1/1)
- 鬼剣舞を初練習**
体験講座が開講 (岩手日日 1/7)
- 昔ながらの「こま」作り**
冬休み工作教室親子が挑戦 (岩手日日 1/14)
- 市民のお宝ずらり**
鬼の館で特別展 思い出の品や珍品337点
(岩手日日 1/16)
- 来月2月から「遊鬼まつり」**
鬼のすむまちを広くPR
北上 仮装青年が幼稚園訪問 (岩手日日 1/24)
- 北上に「なまはげ」**
来月3日節分会に登場 前夜には家々の訪問も…
(岩手日日 1/25)
- 入畑ダム創作民話**
最優秀賞に「鬼翔平物語」
(PORTAL「ポータル」 1/)
- あす福豆節分会**
民俗芸能公演も (岩手日日 2/2)
- 子供たちと雪遊び楽しむ**
きょうまで「遊鬼祭り」
優しい「鬼」たちが幼稚園など訪問
(岩手日日 2/3)
- 「泣く子はいねえが」**
本場のなまはげ北上訪問 (岩手日日 2/3)
- 「鬼も内」の掛け声響く**
鬼の館節分会 遊鬼まつり 親子連れでにぎわう
(岩手日日 2/4)
- 今年こそは「福は内」**
各地で節分行事 (毎日新聞 2/4)
- 国指定重要無形民俗文化財「男鹿のなまはげ」**
8世帯を練り歩く (岩手日報 2/3)
- 鬼の館など休館日開館**
北上市予算案
約30人の雇用策盛り (朝日新聞 2/21)

最優秀賞受賞作品

おにがけだいら
「鬼翔平物語」竹林 征三
田村 喜子

「和賀」は清い流れを意味するアイヌ語の「ワッカ」からつけられた地名です。その名のとおり、澄んだ水が流れる和賀の里の大地の底に、とても心のやさしい「和我太郎」という黄色い鬼と四人の子分の鬼が住んでいました。

空を自由に飛ぶことができる“風の白鬼”岩崎次郎、水に長けた能力を持つ“水の青鬼”下藤三郎、大地をいじるのが大好きな“土の黒鬼”入畑四郎、そしてどんな生きものとも話ができる“赤鬼”の牛五郎の四人です。

太郎たちはこの土地のことをだれよりもよく知っていました。なぜなら、和賀の山やまや和賀川や夏油川など、この土地はみんな太郎たちがつくったのですから。

やがて和賀の里を流れる夏油川の下流にある羽場の台地にも人びとが住むようになりました。人びとは夏油川や和賀川から水を引いて田畑を拓き農耕にはげもうとしましたが、切り立った川岸から水を引くのはたやすいことではありませんでした。雨が降れば台地は削られて崩れ落ち、日照りがつづけば旱魃におそわれ、そのうえきびしい年貢の取り立てに苦しめられて、土には先祖からの血と涙がしみ込んでいました。

深い地の底で昼寝をしていた太郎は、ある日ポタッ、ポタッと額に落ちた二粒のしずくにおどろいて目を覚ましました。しずくは黒と赤の色をしていました。黒いしずくが汗の一滴で、赤いしずくが血の一滴であることに太郎はすぐに気がつきました。

太郎は跳ね起きました。その目にいっぱい涙がたまっていました。

心やさしい太郎の目から大粒の涙があふれました。その涙が額に落ちた四人の子分たちはあわてて起きあがり、太郎の周りに行儀よくすわりました。

「遠い昔にこの地をつくったがおれたちが、長い昼寝をしているあいだに、たくさんのひとがこの辺りに住みついたようだ。ここは南部と伊達の国ざかいでもあるから、争いも絶えなかったとみえる。それに、作物があまりとれない土地だから、

人びとはずいぶん苦しんでいるらしい。見ろ、おれの額に落ちてきた汗と血のしずくを」

太郎の目に、また涙が噴き出しました。

「大勢のひとたちが住むようになったこの地を、おれたちは諍いの種を取り除いて、平和で心ゆたかな地に、豊穡の大地にしなくちゃいけないのだ。どうしたらいいか、みんなで考えよう」

太郎と四人の子分はそれから三日間、昼も夜も、いっしょうけんめいに考えました。

四日目になって、白鬼の岩崎次郎が口火を切りました。

「高いところに、見晴らしの利く広場をつくるというのはどうだい。そこには心地よい風が吹いてさあ、景色だけじゃなくって、心のうちも、未来も、なにもかもが見通せるんだ。だから、その広場に立てば、小さなことが原因で諍いを起こすことの愚かしさに気がつき、いちばん大切なのはみんなと仲よくすることだってことがわかるだろう」

青鬼の下藤三郎が待ってましたとばかりにつづけました。

「村びとたちの辛苦はとても大きかったにちがいない。だから、ゆっくりとした癒しの場をつくってやったらどうだろう。例えば、身体も心も芯から温まる湯だ。おれは水を自由に操るのが得意だから、温泉をつくるよ」

黒鬼の入畑四郎は、腕に力瘤をつくりながらいいました。

「おれは、みんなが頼りたくなるような、なながあってもビクともしない大きな岩を据えつけてみたい。それはきっと、人びとの心の支えみたいになると思うよ。みんなはその岩根のところに集まって、この地をもっと暮らしよいところにしよう、力を合わせる相談をするだろうよ」

「おれは…」

赤鬼の牛五郎は良案が思いつきませんでした。太郎は牛五郎の肩を叩いていいました。

「おまえには最後に、この地の豊かな草木をつくるという大切な仕事をしてもらうよ」

とりあえず仕事のない牛五郎の寝ている姿が牛形山となり、五郎の話し相手をしたのが兎森山と驚ヶ森山でした。

大地の底では、高台と温泉と岩の根の三つの仕組みをつくる作業がはじまりました。砂礫や火山灰でできている軟らかい岩と、石英安山岩でできた硬い岩とをうまく配置しなければなりません。七日七晩かけてようやくできあがりしました。

「いい出来栄えだ」

太郎は満足でした。

次はいよいよ地上の仕事です。牛五郎を地の底の留守番に残し、あとの三人を連れて地上に出ることにしました。

「鬼の姿のままじゃ、人びとが怖がるだろう。変身しなくちゃいけないな。おれは高いところから地上をよく見まもるために、天狗になろう。お前たちは猿に変身しろ」

太郎はどこまでも心やさしい黄鬼でした。

いちばん先に太郎が外へとび出しました。あまりにも勢いよくとび出したので、大地が盛り上がって太い柱のような岩になりました。日本一の石灰華の大ドーム、「天狗の岩」の誕生です。

猿の姿になった三人の鬼がとび出したところには、三つの湯壺ができました。

太郎天狗と三匹の猿が集まったのは、鬼たちが真昼から昼寝をしていた真昼山地の最高峰、和賀岳の山頂です。

太郎天狗は羽団扇で次郎をあおぎました。次郎猿は空高く舞い上がり、西の方角へ飛んでいきました。そして幾日かして、慈覚大師という偉いお坊さまを連れて戻ってきました。慈覚大師は和賀の里と夏油川が一望できる高台に、一卷のお経を埋めました。こうして「経塚山」ができました。

泉の湧き出る三つの湯壺には小さな薬師如来を安置して、「夏油の湯」としました。西国への長旅でくたびれ果てていた白猿の次郎は、自分ばかりが人一倍働かされて…と、親分を恨みなくなっていました。ところが夏油の湯に身を沈めると、身体だけでなく、心の中まで温められて、疲れも恨みもすっとなでしまったのです。

なんて不思議な効き目のある温泉でしょう。次郎は心底いい気分になりました。

旅の途中、白い猿が湯治している様子を見た平家の落人の末裔、四郎左衛門の口から、心身ともに癒す夏油の秘湯のうわさは全国津々浦々に広まっていきました。

「おれの仕事は終わったから、先に帰るとしよう。おまえたちはお坊さまにつくっていただいたお地蔵さまを安置してから帰ってこい。いちばんいい場所に安置するんだぞ」

そういい残して太郎は地の底へもぐっていきました。そのあとに大きな洞穴ができました。これが「洞窟の湯」です。

親分がいなくなると、われらの天下とばかり、三匹の猿は羽を伸ばして遊びだしました。

高い木にのぼったり、岩場でとびはねたり、渓谷を飛び移るときには木の枝をうまく使い、三匹が手をつなぎあって、まるで橋を架けたように上手に渡りました。その様子を見ていた和賀の人び

とは、「入畑溪谷の猿橋」と呼ぶようになりました。

でも大変、遊びに夢中になり、大事なお地蔵さまをどこかに置き忘れたまま、三匹の猿は鬼の姿に戻って地の底へ帰ってしまいました。それぞれがもぐった穴が、入畑温泉、瀬美温泉、水神温泉であり、「和賀“風水土”三鬼温泉」と言われるようになりました。

羽場の台地にゆったりと年月が流れました。もともと水不足だった羽場の台地の村びとは、近くに大きな湖水があれば用水を引くことができるのになあ、とため息をついてばかりいました。川の水を堰きとめて大きな人造湖をつくることできればいいのですが、それにはしっかりと大地に根を張った岩が必要なのです。でも夏油の川筋にそのような岩はみあたりませんでした。

そんなある日のことです。溪谷に立つ大きな岩の上で、キラッと光ったものがあります。村びとがいぶかりながら近づいてみると、光の主は小さなお地蔵さまでした。白青黒の三匹の猿たちがどこかに置き忘れたお地蔵さまだったのです。

その岩の地中には、巨木が天を突く姿にも似て、深い地の底から一本の岩の柱ががっしりと根をおろしていたのです。あの土いじりの好きな黒鬼四郎たちがつくっておいてくれたものにちがいません。

この大岩を利用して、川の水を堰きとめ、人工の湖をつくれと、お地蔵さまが教えてくださったのです。

その後、この大岩を基礎にして人工の湖がつくられました。「入畑ダム」です。ダムサイトは「鬼の岩根」と呼ばれています。

和我太郎と四人の心やさしい鬼たちからの贈り物に感謝しよう、村びとたちは「鬼剣舞」を舞いました。そのとき鬼の面を被るのは、人びとを怖がらせないようにと姿を変えて地上に出た鬼たちのこまやかな気配りを見習い、今度は鬼たちが出やすいようにと、みんなが鬼の姿に変身したのです。

湖水周辺の山並みは、鬼たちが空翔ける姿に似ているところから、「鬼翔平」、夏油川の流域は「鬼翔の里」と呼ばれています。鬼たちが湖水誕生をよろこび、周りでかけっこしているようです。湖の名は「和我鬼翔湖」と呼ばれるようになりました。ほら、「鬼かけっこ」と聞こえるでしょう。

「天狗の岩」や夏油川沿いの温泉群からわきあがる湯気は、心やさしい鬼たちが地の底から吹き出している「平和への息吹」だと言いつづえられるようになりました。

鬼の里だより

◎企画・展示

10/7～11/25 =入込客数 4,303人=
 〈企画展15〉「エミシ展」～北の鬼の復権～
 12/11～2/24 =入込客数 2,919人=
 〈特別展〉市民の心のたからもの展
 3/10～5/6
 〈特別展〉平成13年度収蔵資料展

◎鬼学講座

10/27～28 移動研修「安倍氏と鬼切部」
 講師：鬼首公民館長（郷土史家） 大山厚昭氏
 参加者 11人

11/18 「鬼の手形」
 鬼の館 館長講和 参加者 28人

◎鬼っこわんぱく講座

1/6 鬼剣舞体験① 参加者 5人

1/13 鬼剣舞体験② 参加者 9人
 1/20 鬼剣舞体験③ 参加者 9人
 1/27 鬼剣舞体験④ 参加者 12人
 2/3 鬼剣舞発表会
 閉講式 参加者 10人

◎鬼ッズ・プレイミュージアム

・はりこ面づくり 15回 参加者 のべ125人
 ・-冬休み- 12/22
 ほねなし凧をつくろう 参加者 7家族18人
 ・-冬休み- 1/12
 びゅんびゅん独楽をつくろう
 参加者 11家族24人

◎芸能公演

10/28 相去鬼剣舞保存会 観客 158人
 11/25 谷地鬼剣舞保存会 観客 129人
 3/24 岩崎鬼剣舞保存会 観客 129人



入館状況

H13. 4. 1～H14. 3. 31
 開館日数293日
 単位：人

	個人	団体	無料	計
一般	14,338	3,969	6,385	24,692
高校生	228	81	139	448
小・中学生	1,682	124	2,340	4,146
計	16,248	4,174	8,864	29,286

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
 なお、入館は午後4時30分まで。

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
 (土・日・月の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月27日～12月2日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・臨時休館日(5/28・7/23・9/24・11/26)

入館料

一般	300円 (250円)
高校生	200円 (150円)
小中学生	150円 (100円)

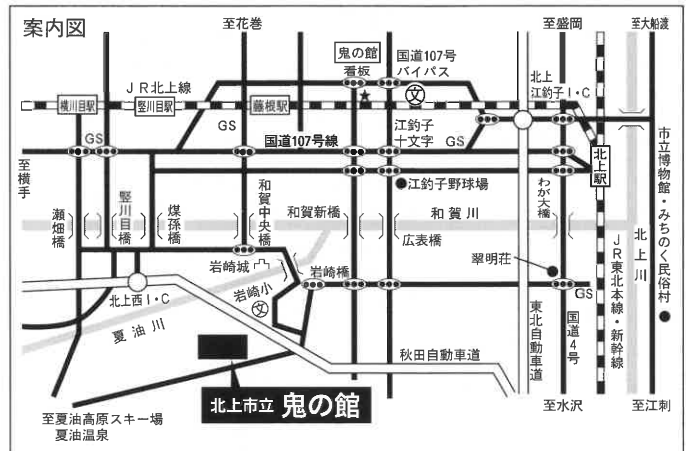
()内は20人以上の団体料金。

下記の場合、市内小中学生は入館料が免除になります。

- ・毎週土曜日
- ・社会体験学習のしおりを持参した時
- ・学習活動で申請利用する時

交通案内

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
 煤孫經由横川目行・瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C」、秋田自動車道「北上西I.C」よりともに車で15分。



北上市立鬼の館だより

第 16 号 2002. 3. 31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
 TEL 0197 (73) 8488 FAX 0197 (73) 8508